



日本共産党北区議会議員
さがら としこ
区政レポート

2012.3.27 No.1049

ご相談はお気軽に
TEL とも 3905-0970

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/~kyoukita/>

○昨日(3/26)、区議会予算議会
が終りました。詳細は後日議
員団ニュースでお届けします。

○4月から、介護保険料も国保
料などが大幅値上げとなります。
共産党は、このような「提言」を
示して、北区議会でのくらしと命
を守る論戦をおこないました。



社会保障 財政危機

消費税に頼らず 財源をつくります

「医療崩壊」「介護難民」…、民主党政権は、社会保障切り捨てを自公政権からそっくりひきついでいます。社会保障を再生し、さらに拡充するためにどう

うするか—日本共産党は、消費税に頼ることなく、急を要する課題から段階的に解決し、財源も段階的に確保することを提案しています。

ステップ1

社会保障再生のために

財源

12
～
15
兆円

●聖域なくムダ一掃

3.5兆円

- ダム建設3000億円、大型道路5000億円…。大型開発2兆円のうち、半分をカット。
- 原発推進予算を3000億円削減。
- 在日米軍予算を2700億円カット、新型戦車(130億円)やアメリカから買う戦闘機(600億円)など装備品を中心に軍事費を1兆円へらす。
- 政党助成金320億円を廃止する。

こうすれば、小泉「改革」以来、大きく崩された社会保障を再生できます。

医療

介護

●富裕層、大企業に 応分の負担

8～11兆円

- 証券優遇税制の廃止。
- 富裕税の創設(相続税対象額が5億円超の資産に)。
- 新たな大企業減税1.4兆円を中止する。

「億万長者に優しい議会に甘やかされてきた。私たちに課税強化を」(世界でもっとも著名な投資家)ウォーレン・巴菲特氏)—富裕層の課税強化は、歐米ではあたりまえです。

ステップ2

先進水準に充実させる

財源

6
兆
円

●国民みんなで 力に応じてささえる —「応能負担」の税制改革

ヨーロッパなどの先進的な社会保障をきずくためには、大企業と富裕層だけの負担では足りません。所得税の累進課税を強化し、国民みんなで財源をつくる必要があります。

その際、①国民の所得をふやす経済改革で、税負担がふえても手取りはふえるように、②社会保障の拡充と一緒にすすめる、③国民的討論と合意で実施する—この立場をつらぬきます。

最低保障年金

●月額5万円の最低額を保障し、それに支払った保険料に応じた給付を上乗せする。

医療・介護

●医療費の窓口負担を、大人も子どももゼロにする。
●介護の利用料ゼロを実現する。

学費・教育

●世界一高い学費の無償化にすすむ。
●大学・研究予算を抜本的に増額する。

年金

保育

生活

●支給額を物価にあわせて自動削減する仕組みを撤廃。

●受給資格の取得期間を10年に。低年金の緊急底上げ(最低3万3千円を全員に)。

●国・自治体の責任放棄を許さず、公的保育をまもる。

●認可保育所を増設し、待機児童をゼロに。

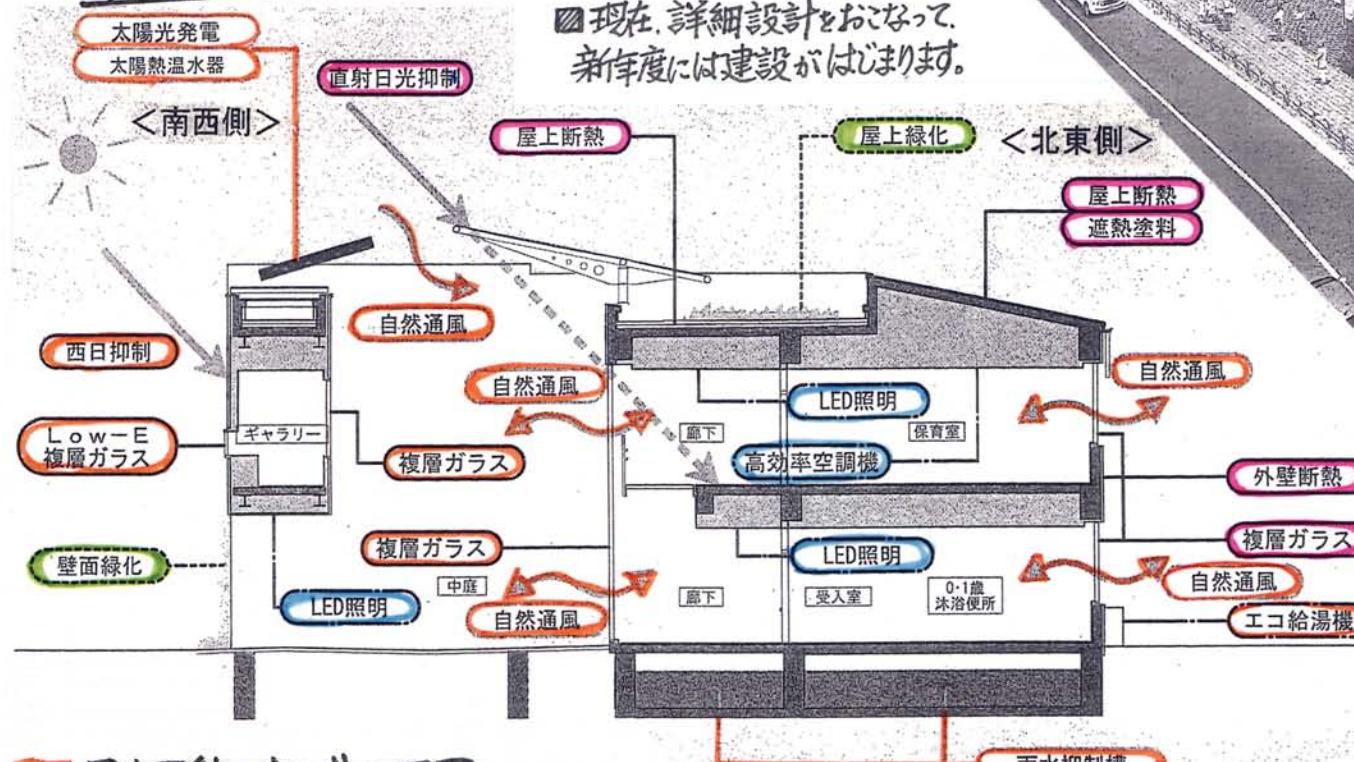
●生活保護の老齢加算を復活。保護費の切り下げストップ。

●障害者自立支援法を廃止し、総合福祉法をつくる。

*「北区では、どんな再生エネルギーを活用するんすか」のご質問におこたえします。

H25年度設立区立西ヶ原南保育園(旧外語大の跡地に) 定員99名

環境にやさしい4つの工夫で北区のモデルに



■この西ヶ原南保育園が、北区としてのモデルになります。今後の王子本町保育園(都営王子本町住宅の建替とともに)、赤羽駅前保育園(都営住宅の建替の中)、また、UR赤羽台団地建替の中の保育園には、ぜひ環境にやさしい工夫を求めてゆきましょう。

北区から発展に頼らないエネルギーへ。

- 再生可能エネルギーの活用**
 - ①自然通風とやわらかな光をとりこむ工夫。
 - ②太陽光発電
 - ③太陽熱温水器で給湯の補助熱源として
 - ④雨水抑制槽の活用
- 壁面や屋上に、緑をふやす**
- LEDや高効率型の空調機で、エネルギー使用量を減らす**
- 建築物の熱負荷を抑制する**
 - ①内・外壁の断熱材を厚くする(省エネ・再エネ東京仕様)
 - ②屋上に断熱材料、遮熱塗料の活用
 - ③LOW-E複層ガラス
 - ④ギャラリーに西日抑制の工夫
 - ⑤テント状ひばり

